

凡例：知識やテクニックにより克服できる減点・・・㊦

エスキスの流れでやむを得なかった減点・・・㊦

問題読み落としや不注意による減点・・・㊦

今回は参考レイアウト（解答用紙）を見なかった為か、地下面積を合計していません。

1・2階面積は指定面積の下限に近く、地下を加算すると上限ギリギリで、奇跡的な面積規模でした。

配置・アプローチ計画

- | | | |
|-----------------------|---|-----|
| 1. 歩車分離不適。（車いす） | 3 | ㊦ ㊦ |
| 2. 駐車場配置不適。（音とプライバシー） | 4 | ㊦ ㊦ |
| 3. 荷解き室の外部接続欠。機能不良。 | 2 | ㊦ ㊦ |

ゾーニング・動線計画

- | | | |
|---------------------------------------|---|-----|
| 4. 郷土資料室ドア欠。（児童開架閲覧室の子供の声に配慮欠） | 2 | ㊦ ㊦ |
| 5. 郷土資料室への書籍動線の遠回り。（他部門の通過） | 3 | ㊦ ㊦ |
| 6. 操作・誘導員室から駐車場の見通し不良 | 2 | ㊦ |
| 7. 職員便所の不足。男女1ブースは必要。 | 1 | ㊦ ㊦ |
| 8. 図書作業室はホワイエ、開架閲覧室の各コーナーが他コーナー経由の避難。 | 2 | ㊦ ㊦ |
| 9. 管理階段は4.5mの階高に対し段数不足。基準法 | 3 | ㊦ ㊦ |
| 10. 主階段は4.5mの階高に対し段数不足。誘導基準 | 2 | ㊦ ㊦ |
| 11. 開架閲覧の区画小扉方竪は日常利用の障害。 | 1 | ㊦ ㊦ |
| 12. 階段内のポンプ室区画欠。 | 1 | ㊦ ㊦ |

構造・設備計画

- | | | |
|-----------------------------|---|---|
| 13. 地下階基礎が巨大な塊となっている。荷重の偏在。 | 2 | ㊦ |
|-----------------------------|---|---|

- 1 4 . 記述に照らし小ホール用空調機械室の欠。 3 (不) (テ)
- 1 5 . 照明器具の凡例不備。 2 (テ)
- 1 6 . 異なる階高を記入するのは2階平面図。^{1階に記入しては意味が異なる。} 2 (不)

各室の計画

- 1 7 . 児童開架閲覧室の過大。 + 1 割超 2 (工) (テ)
- 1 8 . 喫茶コーナーにカウンター (厨房) の欠。 1 (テ)
- 1 9 . 館長室過小。 1 (工)
- 2 0 . 小ホールの車いす席位置不適。 後部一般席の視野障害。 1 (テ)
- 2 1 . おはなし室にドア無し。 1 (テ)
- 2 2 . 展示コーナー等範囲の明示が欠。 2 (不)
- 2 3 . 共用ロビーの吹抜けの有効面積不足。 2 (テ)
- 2 4 . コントロールカウンターからの見通し不良。 2 (工)

図面表現

- 2 5 . 断面図：長スパン部の引き出し補足説明欠。 3 (テ)
- 2 6 . 伏図：吹抜け・階段の梁肩実線表記欠。 2 (テ)
- 2 7 . 構造部材表：長スパンを受ける柱の符号分け欠。 C 2 2 (テ)
- 2 8 . 主アプローチのスロープ有効不足。^{1 . 5 m 必要。} 1 (不) (テ)
- 3 0 . 開架閲覧室の 1 + 2 階面積記入欠。 1 (不) (テ)
- 3 1 . 面積表：地下 1 階面積の不算入。 2 (不) (テ)
- 3 2 . 断面図：地下 1 階階高、設備機械室の天井高さ記入欠。 2 (不)

計 6 0

減点ではないが気になる点

1. 地下に機械室というと、管理階段とドライエリアの関係で規模が過大になる傾向があり、1・2階に適宜配置となると、要求室の配置が優先されるので過小となる傾向があります。今回の答案はその両方の現象が同居していました。

印象点内訳参考記入

1. 敷地利用・アプローチ計画	2	荷解き室の外部接続欠 駐車場配置不適	}	9
2. 利用者・管理動線計画	1	郷土資料への書籍動線が 異なる部門の利用者動線と交錯		
3. 避難計画	1	他のコーナー経由の2方向避難		
4. 各ゾーンのまとめ	0			
5. 要求室計画	2	館長室の過小 操作員室の配置		
6. 構造計画	1	地下1階下部の巨大な塊		
7. 設備計画	1	小ホール用空調機械室の欠		
8. その他法的事項	0			
9. 図面精度・密度	0			
10. 正確な表記・整合性	1	伏図の正確な表記		

課題6は難易度が高く、さらにこれまで、減点では無かった不備についても1として指摘しているので、前回に比べ得点は振るいませんでしたが、実力は確実にアップしています。

後は、これまでの減点項目を整理して繰り返し復習を行い、できるものはマイナーチェンジを試みてください。合せてまとめを読み、自信を持って本番に臨んで下さい。健闘を祈ります。

	1次図面採点	2次印象点	2次記述点	合計	総合評価
想定合格ライン	60点/100点	13点/20点	41点/60点	114点/180点	類
得点	40点/100点	(11)点/20点	(35)点/60点	(86)点/180点	